



東京都防衛協会60年の歩み



初代会長：櫻田 武
(日経連会長)
S41年～S53年



第2代会長：杉田一次
(第4代陸上幕僚長)
S53年～S58年



第3代会長：瀬川美納留
(野村証券会長)
S58年～S63年



第4代会長：宮崎 輝
(旭化成会長)
S63年～H4年



第5代会長：山口信夫
(旭化成会長)
H4年～H22年



第6代会長：佃 和夫
(三菱重工業会長)
H22年～R5年



第7代会長：大宮英明
(三菱重工業相談役)
R5年～

S41.3.27
東京都自衛隊協
力会連合会とし
て発足
事務所：新宿区
市ヶ谷

S42.6.7
東京都防衛協会
と改称
事務所：新宿区
市ヶ谷

S43.7.30
東京都防衛協会が幹事団体
として支援し東部防衛協会
(東部方面管内1都10県) 設立
会長：東京都防衛協会会長
事務所：東京都防衛協会内

S44
防衛協会全国
連絡協議会結成
東部防衛協会が代
表幹事を務め
事務所：
東京都防衛協会内
に置く

H元年10.5
全国防衛協会
連合会設立
会長：発起人代表
で東京都・東部防
衛協会会長が就任
事務所：東京都防
衛協会に置く

H28年9月
東京都・東部
全国防衛協会連合会
の会長は設立当初の
ままであるが、事務
所はそれまで同居し
ていた全国・東部は
独立し、3協会の事務
局長を兼任していた
東京都防衛協会事務
局長は東京都のみの
選任となった

時代背景

昭和41年頃の自衛隊は冷戦下という状況で、国内防衛だけでなく災害派遣など多岐にわたる活動を展開していました。当時の日本経済は昭和48年のオイルショック迄は高度成長期でした。しかし、国民生活では令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症により令和2年には「緊急事態宣言」が発出され世の中が一変しました。然し、令和5年5月には「5類感染症」に移行され、警戒は必要であるものの元の生活に戻りつつあります。

このような世相を背景に経済界が中心となって資金援助し、東京都内市区町村の国民が人的基盤を拡大して「防衛意識の普及・高揚」「自衛隊を支援すること」の2目的を掲げ純粋に「国を守る心」という思いで設立された非営利団体が「東京都防衛協会です」